

平成30年度 入学者選抜要項



青森県立保健大学

Aomori University of Health and Welfare

2018

目 次

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	I
I 平成30年度入学者選抜概要	1
◆ 入学定員・募集人員	
◆ 選抜日程	
II 一般入試	2
・一般入試の実施教科・科目等	3
III AO入試（アドミッション・オフィス入試）	8
IV 特別選抜	10
1 推薦入試〈一般推薦〉	11
2 帰国子女等特別選抜	12
3 社会人・学士特別選抜	13
4 私費外国人留学生特別選抜	14
V 編入学	15
VI 大学院入学者選抜について	17
VII 留意事項等	18
VIII 大学までの交通案内	22
〈参考〉平成29年度入学者選抜結果	23
◆ 選抜状況	
◆ 入学者の内訳	
◆ 都道府県別志願・合格状況等	



青森県立保健大学

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

本学は、健康科学部において、保健医療福祉の専門職として活躍できる専門性を育み、互いの専門性を尊重しながら連携、協調を図り、ヒューマンケアを実践統合できる人材育成を目指しています。そのためには、（１）人間性豊かで、（２）保健医療福祉の発展に寄与でき、（３）国際化への対応と地域特性を踏まえ、社会に貢献できる人材の育成を目標としており、本学では、次のような要件を備えた学生を求めています。

○ 健康科学部アドミッション・ポリシー

人への深い関心と生命を尊重する気持ちを持って、ケアする専門職への動機付けを有していること。

また、個性豊かでパイオニアになるための素養としての独創性を有し、何事にも主体的に取り組む姿勢を持つ学生を求めます。

○ 各学科アドミッション・ポリシー

看護学科

看護学科は、看護職（保健師・助産師・看護師）として、人間の生涯にわたる健康生活のニーズやその社会的ニーズの変化に対応できる人材を育成します。そのために人間を心身両面から理解し、様々な健康段階にある人々のニーズに対応した援助と専門職としての責務と行動について学習していきます。

そこで、看護学科は次のような人を求めます。

- (1) 看護学を学ぶために必要な、国語、理科、英語などの基礎的学力を備えている人。
- (2) 自ら進んで意欲的に学ぶことができる人。
- (3) 自分の考えを筋道立てて適切に表現できる人。
- (4) 人に関わることが好きで、相手の気持ちを尊重し、適切な人間関係を保つことができる人。
- (5) 看護に関心を持ち、看護職として社会に貢献する意欲がある人。

理学療法学科

理学療法学は、心身に障害を有する人や障害の発生が予測される人を対象として、人々の生活復権の援助を担う一専門分野です。理学療法士の存在意義は対象者の多様なニーズに理学療法技術を用いて応えることにあります。それゆえ理学療法士には、社会奉仕の精神、科学的探求心、責任感および主体的な問題解決能力が求められます。

そこで、理学療法学科では次のような人材を求めています。

- (1) 高等学校で履修する数学、理科、英語、国語などの基礎学力を有する人。
- (2) 医学や医療に対する関心度が高く、特に理学療法分野で貢献したいという目的意識と情熱を持っている人。
- (3) 自己啓発に努め、幅広い教養を身につけるべく自主的に学習する人。
- (4) コミュニケーション能力を高めるよう入学後も継続して自己研鑽する人。

社会福祉学科

社会福祉学科は、現代社会の動向を的確に認識し、生活主体者としての人間の尊厳を深く理解し、地域社会の中で様々な生活上の困難を抱えた人に対して支援できる高度な専門職としての人材を育成する使命を持つものであり、そのために社会福祉に対する情熱を持ち、他者の立場を考え、約束を守り、相手とコミュニケーションのとれる学生を求めます。

- (1) 高等学校で履修する国語、地歴・公民などの内容が、大学の授業の土台になるためにしっかりと学習されている人。
- (2) 仲間や他人、親、兄弟姉妹などとの人間関係において常に相手の立場を考えられるような柔軟性・社会性を有している人。
- (3) 人間の尊厳を深く理解し、様々な生活困難を抱えた人に対して支援する立場の人間として、相手と友好性・協調性を持って信頼関係を結べる人。
- (4) 自分の意見を表明しながら、相手との約束をしっかりと守り、自分の考えや行動に責任を持てる人。
- (5) 周囲の人と良好な関係を保つために、コミュニケーションをとることができ、状況認識ができる人。

栄養学科

栄養学は保健・医療分野のなかで基盤となる学問です。その学問および実践の専門家である管理栄養士は、食品、調理といった口に入る前のことから、体内での代謝・生理、また人々の食行動に関係するさまざまな要因について理解する必要があり、幅広い学問的基礎と深い洞察力、柔軟な応用力が求められます。

したがって、本学科では次のような人を求めています。

- (1) 栄養学の専門分野を主体的に学ぶための基礎となる科目、特に生物や化学を理解している人。
- (2) 栄養学を通して生命と健康にかかわる真理を追求することに情熱を持つ人。
- (3) 健康の維持・増進、疾病の予防・回復・再発防止および介護をめざして、食を通じた人々への支援に取り組みたい人。
- (4) 地域における農林水産食品の加工・調理や機能性にかかわる研究開発にチャレンジしたい人。
- (5) そして、人間の健康と栄養との関係をとらえ、豊かなコミュニケーション能力と“Think globally, act locally”の感覚をもち、ヒューマンケアを实践したいという夢と情熱を持つ人。

I 平成30年度入学者選抜概要

◆ 入学定員・募集人員

学 部 学 科 名	入 学 員 入 定	募 集 人 員							
		一 般 入 試		A 入 試	特 別 選 抜				
		前 期 日 程	後 期 日 程		推 薦 入 試	社 会 人 学 士	帰 国 子 女 等	私 費 外 国 人 留 学 生	
健 康 科 学 部	看護学科	100名	47名	8名	6名	35名	2名	1名	1名
	理学療法学科	30名	14名	3名	2名	10名	1名	—	—
	社会福祉学	50名	25名	6名	4名	14名	1名	—	—
	栄養学科	30名	19名	3名	—	8名	—	—	—
	計	210名	105名	20名	12名	67名	4名	1名	1名

- ※1 看護学科AO入試6名のうち1名は特別活動選抜です。
 ※2 推薦入試の募集人員には、「県内者」・「県外者」の枠を設定しています。（「県内者」「県外者」の区分及び募集人員については、11ページの特別選抜方法（推薦入試）を参照してください。）
 ※3 特別選抜において入学手続き完了者が募集人員に満たない場合は、その欠員数を前期日程に含めて選抜します。

◆ 選抜日程

選 抜 区 分		出 願 期 間	試 験 日	合 格 発 表	入 学 手 続
A O 入 試	看護学科・理学療法学科・社会福祉学	平成29年 8月1日（火）～ 8月4日（金）	書類選考	平成29年 8月18日（金）	平成29年 10月6日（金）～ 10月17日（火）
	1次選抜		平成29年9月16日（土）	平成29年 9月22日（金）	
	2次選抜		平成29年9月30日（土）	平成29年 10月6日（金）	
特 別 選 抜	社会人・学士	平成29年 7月10日（月）～ 7月13日（木）	平成29年8月26日（土）	平成29年 9月1日（金）	平成29年 9月1日（金）～ 9月13日（水）
	推薦入試	平成29年 11月1日（水）～ 11月7日（火）	平成29年11月23日（木・祝日）	平成29年 12月1日（金）	平成29年 12月1日（金）～ 12月11日（月）
	帰国子女等				
私費外国人留学生	平成30年 1月22日（月）～ 1月31日（水）	平成30年2月25日（日）	平成30年 3月5日（月）	平成30年 3月5日（月）～ 3月15日（木）	
一 般 入 試	前期日程	平成30年 1月22日（月）～ 1月31日（水）	平成30年2月25日（日）	平成30年 3月5日（月）	平成30年 3月5日（月）～ 3月15日（木）
	後期日程		平成30年3月12日（月）	平成30年 3月21日（水・祝日）	平成30年 3月21日（水・祝日）～ 3月27日（火）

※平成30年度入学者選抜大学入試センター試験 平成30年1月13日（土）、14日（日）

Ⅱ 一般入試

一般入試は、分離分割方式により前期日程、後期日程に分けて募集します。

○ 出願資格

一般入試に出願する者は、次のいずれかに該当し、かつ平成30年度大学入試センター試験で本学の指定する教科、科目をすべて受験していることを要します。

- (1) 高等学校（中等教育学校を含む。）を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成30年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成30年3月31日までにこれに該当する見込みの者

○ 出願上の注意

- (1) 同一日程グループ内に属する2つの大学・学部に出願することはできません。
- (2) 本学の前期日程の各学科と後期日程の各学科との学内併願を認めます。
- (3) 他の国公立大学（分離分割方式を採用していない公立大学を除く。）に合格し、入学手続きを行った者は、本学を受験しても合格者にはなりません。（重複して入学手続きを行った事実が判明した場合は、本学の入学許可を取り消します。）
- (4) 他の国公立大学（分離分割方式を採用していない公立大学を除く。）のAO入試・推薦入試の合格者は、当該大学の入学辞退の許可を得た場合を除き、本学を受験しても合格者にはなりません。（許可を得ずに入学手続きを行った事実が判明した場合は、本学の入学許可を取り消します。）
- (5) 他の国公立大学（分離分割方式を採用していない公立大学を除く。）の前期日程試験に合格し、入学手続きを行った者は、本学の後期日程試験を受験してもその合格者にはなりません。（重複して入学手続きを行った事実が判明した場合は、本学の入学許可を取り消します。）

○ 入学者選抜方法

入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績並びに調査書の内容を総合して行います。

○ 試験会場

入学者選抜試験は、前・後期日程とも青森県立保健大学（青森市浜館字間瀬58-1）を試験会場として実施します。

平成30年度青森県立保健大学

学部・学科・選抜区分			大学入試センター試験		
			教科	科目名等	科目選択方法等
健 康 科	看護学科	前期日程	国語	「国語」	【必須】
			地理歴史・公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」 「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から1科目	【1科目選択】 ※2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用いる。
			数学	「数学I・数学A」	【必須】
		理科	「物理」「化学」「生物」から2科目 または 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」から2科目	【「基礎を付していない科目」から2科目選択または「基礎を付した科目」から2科目選択】 ※「基礎を付していない科目」から2科目を選択した場合は、当該選択2科目の合計得点をそのまま合否判定に用いる。 また、「基礎を付した科目」から2科目を選択した場合は、理科以外の4科目の合計得点に当該選択2科目の合計得点を加えた600点満点を700点満点に換算し、合否判定に用いる。	
		外国語	「英語（筆記及びリスニング）」	【必須】 ※筆記又はリスニングのいずれか一方を受験しなかった場合は、出願資格を有しない。	
		後期日程	国語	「国語」	【必須】
	数学		「数学I・数学A」	【必須】	
	理科		「物理」「化学」「生物」から1科目 または 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」から2科目	【「基礎を付していない科目」から1科目選択または「基礎を付した科目」から2科目選択】 ※「基礎を付していない科目」から1科目および「基礎を付した科目」から2科目受験した場合は、得点の高い科目を合否判定に用いる。 ※「基礎を付していない科目」から2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用いる。	
	理学療法学科	前期日程	国語	「国語」	【必須】
			数学	「数学I・数学A」「数学II・数学B」	【2科目必須】
			理科	「物理」「化学」「生物」から2科目 または 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」から2科目	【「基礎を付していない科目」から2科目選択または「基礎を付した科目」から2科目選択】 ※「基礎を付していない科目」から2科目を選択した場合は、当該選択2科目の合計得点をそのまま合否判定に用いる。 また、「基礎を付した科目」から2科目を選択した場合は、理科以外の4科目の合計得点に当該選択2科目の合計得点を加えた700点満点を800点満点に換算し、合否判定に用いる。
		外国語	「英語（筆記及びリスニング）」	【必須】 ※筆記又はリスニングのいずれか一方を受験しなかった場合は、出願資格を有しない。	
後期日程		国語	「国語」	【必須】	
		数学	「数学I・数学A」「数学II・数学B」	【2科目必須】	
	理科	「物理」「化学」「生物」から2科目 または 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」から2科目	理学療法学科 前期日程 理科と同様の取扱いとする。		
外国語	「英語（筆記及びリスニング）」	【必須】 ※筆記又はリスニングのいずれか一方を受験しなかった場合は、出願資格を有しない。			

一般入試の実施教科・科目等

個別学力検査等			配点等									
教科名	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点合計
その他	小論文 面接	—	大学入試 センター試験	100		100	100	200 注1 100	200			700
			個別学力検査						100	注2	100	
			計	100		100	100	200	200	100		800
その他	面接	—	大学入試 センター試験	100			100	100	100			400
			個別学力検査							注3 200	200	
			計	100			100	100	100	200	600	
その他	小論文 面接	—	大学入試 センター試験	200			200	200 注1 100	200			800
			個別学力検査						100	注2	100	
			計	200			200	200	200	100	900	
その他	面接	—	大学入試 センター試験	200			200	200 注1 100	200			800
			個別学力検査							注4 200	200	
			計	200			200	200	200	200	1000	

【配点等】欄

注1 上段は「基礎を付していない科目」を選択した場合における配点を、また下段は「基礎を付した科目」を選択した場合における配点を指す。

注2 「面接」は、点数化せず、総合判定資料として合否判定に用いる。

注3 「面接」内容は、集団討論（討論課題についてのまとめ文作成を含む）および個別面接とする。

注4 「面接」内容は、集団討論および個別面接とする。

学部・学科・選抜区分			大学入試センター試験			
			教科	科目名等	科目選択方法等	
健 康 科 学 部	社会福祉学科	前期日程	国語	「国語」	【必須】	
			地理歴史・公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」から1科目 「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から1科目	【2科目選択】	
			数学・理科	次の①②いずれかを選択 ①「数学I・数学A」 ②「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目 または 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」 「地学基礎」から2科目	【左記①選択または左記②のうち「基礎を付していない科目」から1科目選択もしくは「基礎を付した科目」から2科目選択】 ※2科目以上受験した場合は、「数学」及び「理科」第1解答科目のうち、得点の高い科目を合否判定に用いる。 ※理科の「基礎を付していない科目」から1科目および「基礎を付した科目」から2科目受験した場合は、得点の高い科目を合否判定に用いる。	
		外国語	「英語（筆記及びリスニング）」	【必須】 ※筆記又はリスニングのいずれか一方を受験しなかった場合は、出願資格を有しない。		
		国語	「国語」	【必須】		
		地理歴史・公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」から1科目 「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から1科目	【2科目選択】		
	社会福祉学科	後期日程	数学・理科	次の①②いずれかを選択 ①「数学I・数学A」 ②「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目 または 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」 「地学基礎」から2科目	【左記①選択または左記②のうち「基礎を付していない科目」から1科目選択もしくは「基礎を付した科目」から2科目選択】 ※2科目以上受験した場合は、「数学」及び「理科」第1解答科目のうち、得点の高い科目を合否判定に用いる。 ※理科の「基礎を付していない科目」から1科目および「基礎を付した科目」から2科目受験した場合は、得点の高い科目を合否判定に用いる。	
			外国語	「英語（筆記及びリスニング）」	【必須】 ※筆記又はリスニングのいずれか一方を受験しなかった場合は、出願資格を有しない。	
			国語	「国語」	【必須】	
		栄養学科	前期日程	国語	「国語」	【必須】
				数学	「数学I・数学A」	【必須】
				理科	「物理」「化学」「生物」から2科目	【2科目選択】
外国語	「英語（筆記及びリスニング）」		【必須】 ※筆記又はリスニングのいずれか一方を受験しなかった場合は、出願資格を有しない。			
後期日程	数学		「数学I・数学A」	【必須】		
	理科		「化学」「生物」から1科目	【1科目選択】 ※2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用いる。		
	外国語	「英語（筆記及びリスニング）」	【必須】 ※筆記又はリスニングのいずれか一方を受験しなかった場合は、出願資格を有しない。			

個別学力検査等			配点等									
教科名	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点合計
その他	面接	—	大学入試 センター試験	100	100	100	100		100			500
			個別学力検査								200	200
			計	100	100	100	100		100		200	700
その他	面接	—	大学入試 センター試験	100	100	100	100		100			500
			個別学力検査								注4 200	200
			計	100	100	100	100		100		200	700
その他	小論文 面接	—	大学入試 センター試験	100			100	200	200			600
			個別学力検査							200	注2	200
			計	100			100	200	200	200		800
その他	面接	—	大学入試 センター試験				100	200	200			500
			個別学力検査								注3 200	200
			計				100	200	200		200	700

【配点等】欄

注2 「面接」は、点数化せず、総合判定資料として合否判定に用いる。

注3 「面接」内容は、集団討論（討論課題についてのまとめ文作成を含む）および個別面接とする。

注4 「面接」内容は、集団討論および個別面接とする。

○平成30年度一般入試における大学入試センター試験「理科」の受験を要する教科・科目およびセンター試験出願時における科目選択方法について

学科名	一般入試日程	本学が指定する大学入試センター試験「理科」の利用教科・科目	大学入試センター試験「理科」の科目選択方法(※)	備考
看護学科	前期	理科 「物理」「化学」「生物」から2科目、 または「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」から2科目	A：理科①から2科目 C：理科①から2科目及び理科②から1科目 D：理科②から2科目	地学基礎、 地学を除く
	後期	理科 「物理」「化学」「生物」から1科目、 または「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」から2科目	A：理科①から2科目 B：理科②から1科目 C：理科①から2科目及び理科②から1科目 D：理科②から2科目 ※Cの場合、「理科①2科目」「理科②」のうち、得点の高い科目を合否判定に用いる ※Dの場合、理科②第1解答科目を合否判定に用いる	地学基礎、 地学を除く
理学療法学科	前期・後期	理科 「物理」「化学」「生物」から2科目、 または「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」から2科目	A：理科①から2科目 C：理科①から2科目及び理科②から1科目 D：理科②から2科目	地学基礎、 地学を除く
社会福祉学科	前期・後期	数学・理科のいずれか 次の①②いずれかを選択 ①「数学Ⅰ・数学A」 ②「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目、または「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目	A：理科①から2科目 B：理科②から1科目 C：理科①から2科目及び理科②から1科目 D：理科②から2科目 ※Aの場合、「数学」「理科①2科目」のうち、得点の高い科目を合否判定に用いる ※Bの場合、「数学」「理科②第1解答科目」のうち、得点の高い科目を合否判定に用いる ※Cの場合、「数学」「理科①2科目」「理科②第1解答科目」のうち、得点の高い科目を合否判定に用いる ※Dの場合、「数学」「理科②第1解答科目」のうち、得点の高い科目を合否判定に用いる	
栄養学科	前期	理科 「物理」「化学」「生物」から2科目	D：理科②から2科目	地学を除く
	後期	理科 「化学」「生物」から1科目	B：理科②から1科目 C：理科①から2科目及び理科②から1科目 D：理科②から2科目 ※Dの場合、理科②第1解答科目を合否判定に用いる	物理、地学を除く

上記以外の科目および配点等については、3～6ページでご確認ください。

※【理科①】…物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎
【理科②】…物理、化学、生物、地学

Ⅲ A O入試（アドミッション・オフィス入試）

○ 出願資格

A O入試に出願できる者は、看護学科の特別活動選抜（1名）を除き、高等学校又は中等教育学校を平成30年3月卒業見込みの者に限ります。詳細は次ページを参照してください。

○ 出願上の注意

- (1) A O入試は、大学入試センター試験の受験を要しません。
- (2) 出願書類に虚偽の記載をした場合（例えば自己推薦書に虚偽の事実を記載した場合など）、入学後であっても入学の許可を取り消します。
- (3) 他の国公立大学（分離分割方式を採用していない公立大学を除く。）に合格し、入学手続きを行った者は、本学を受験しても合格者にはなりません。（重複して入学手続きを行った事実が判明した場合は、本学の入学許可を取り消します。）
- (4) 他の国立大学（分離分割方式を採用していない公立大学を除く。）のA O入試の合格者は、当該大学が定める入学辞退手続きにより入学を辞退した場合を除き、本学を受験しても合格者にはなりません。（手続きを経ずに入学手続きを行った事実が判明した場合は、本学の入学許可を取り消します。）

○ 入学者選抜方法

学科により異なりますので、次ページの選抜方法を参照してください。

○ 試験会場

2次選抜及び3次選抜の面接試験は、青森県立保健大学（青森市浜館字間瀬58-1）を試験会場として実施します。

平成30年度 A O 入試選抜方法

青森県立保健大学

実施学部・学科名	健 康 科 学 部		
	看 護 学 科	理 学 療 法 学 科	社 会 福 祉 学 科
募 集 人 員	6名(うち1名は特別活動選抜)	2名	4名
出 願 資 格	<p>【一 般】 次の各号のいずれにも該当する者とする。(看護学科の特別活動選抜を除く。)</p> <p>(1) 高等学校又は中等教育学校を平成30年3月卒業見込みの者(学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第104条第3項の規定により、学年の途中において、又は、学期の区分に従い、高等学校の卒業を認められる者も含む。)</p> <p>(2) 調査書の全体の評定平均値が3.5以上で、かつ、各学科が指定する次の教科の全体の評定平均値が4.0以上である者。全体の評定平均値とは、各教科毎ではなく、すべての教科・科目の評定の合計数をすべての評定数で除した値とする。 看護学科・理学療法学科：国語、数学、理科、外国語 社会福祉学科：国語、地理歴史・公民(いずれかの教科で1科目以上履修していれば可)、外国語</p> <p>(3) 志望学科ごとに次の要件に該当する者</p> <p>① 看護学科 看護学に興味を持ち、将来看護の実践の分野で活躍したいという意欲が明らかな者</p> <p>② 理学療法学科 卒業後に、理学療法士の資格を有効に活用し、社会に貢献したいという強い意欲がある者</p> <p>③ 社会福祉学科 卒業後に、社会福祉士又は精神保健福祉士の資格を有効に活用し、社会に貢献したいという強い意欲がある者</p> <p>【看護学科の特別活動選抜】 次に掲げる(1)と(2)の両方に該当する者で、看護学に興味を持ち、将来看護の実践の分野で活躍したいという意欲が明らかな者とする。</p> <p>(1) 学業要件 次のいずれかに該当する者</p> <p>① 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は平成30年3月卒業見込みの者</p> <p>② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者</p> <p>③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者</p> <p>(2) 特別活動要件 次のいずれかに該当する者</p> <p>① 文化、芸術、芸能、技芸などの分野(弁論大会、作文、音楽、演劇、発明、美術、工芸、放送、スポーツほか)で高水準の実績や能力を発揮し、全国レベルの大会・コンクール等に入賞するなどして、その経歴と成果を客観的に証明できる書類を提出できる者</p> <p>② 知的技能分野(日本数学オリンピックほか)で高水準の実績や能力を発揮し、全国レベルの大会等に入賞するなどして、その経歴と成果を客観的に証明できる書類を提出できる者</p> <p>③ 社会活動の分野(ボランティア活動など)において顕著な実績を有し、公共団体から表彰を受ける等して、その結果や活動状況について客観的に証明できる書類を提出できる者</p>		
選 抜 方 法 等	<p>(1) 1次選抜：出願書類(志望理由書、自己推薦書及び調査書)により行う。</p> <p>(2) 2次選抜：出願書類、事前に提出された課題レポート及び課題レポートに基づく面接の内容を総合して行う。 ※1次選抜の合格通知書を送付する際に課題レポートの課題を通知する。</p> <p>(3) 3次選抜：総合的な観点からの面接により行う。</p>		
出 願 期 間	平成29年8月1日(火)～8月4日(金)		
選 抜 期 日	<p>(1) 2次選抜：平成29年9月16日(土)</p> <p>(2) 3次選抜：平成29年9月30日(土)</p>		
合 格 発 表 日	<p>(1) 1次選抜：平成29年8月18日(金)</p> <p>(2) 2次選抜：平成29年9月22日(金)</p> <p>(3) 3次選抜：平成29年10月6日(金)</p>		
備 考	<p>・大学入試センター試験の受験を要しない。</p> <p>・本学の推薦入試・一般入試との併願が可能であるが、別途出願が必要である。</p>		

IV 特別選抜

○ 特別選抜の種類

各学科において、次のとおり特別選抜を実施します。

選 抜 区 分	看 護 科 学 科	理 学 療 法 学 科	社 会 福 祉 学 科	栄 養 科 学 科	特別選抜方法 参 照 ペ ー ジ
推薦入試	○	○	○	○	P 11
帰国子女等特別選抜	○				P 12
社会人・学士特別選抜	○	○	○		P 13
私費外国人留学生特別選抜	○				P 14

○ 出願資格

特別選抜に出願できる者は、選抜区分により異なりますので、次ページ以降の選抜方法を参照してください。なお、推薦入試の出願は、高等学校又は中等教育学校を平成30年3月卒業見込みの者に限ります。

○ 出願上の注意

- (1) 特別選抜は、全て大学入試センター試験の受験を要しません。
- (2) 出願書類に虚偽の記載をした場合（例えば社会人・学士特別選抜において、社会人の経験年数を偽って記載した場合など）、入学後であっても入学の許可を取り消します。
- (3) 他の国公立大学（分離分割方式を採用していない公立大学を除く。）に合格し、入学手続きを行った者は、本学を受験しても合格者にはなりません。（重複して入学手続きを行った事実が判明した場合は、本学の入学許可を取り消します。）
- (4) 他の国公立大学（分離分割方式を採用していない公立大学を除く。）の推薦入試の合格者は、当該大学の入学辞退の許可を得た場合を除き、本学を受験しても合格者にはなりません。（許可を得ずに入学手続きを行った事実が判明した場合は、本学の入学許可を取り消します。）

○ 入学者選抜方法

選抜区分により異なりますので、次ページ以降の選抜方法を参照してください。

○ 試験会場

特別選抜試験は、全て青森県立保健大学（青森市浜館字間瀬58-1）を試験会場として実施します。

IV - 1

平成30年度特別選抜方法（推薦入試）

青森県立保健大学

実施学部 ・ 学科名	健 康 科 学 部			
	看 護 学 科	理 学 療 法 学 科	社 会 福 祉 学 科	栄 養 学 科
募集人員	35名（うち県外者5名）	10名（うち県外者2名）	14名（うち県外者3名）	8名（うち県外者2名）
	<p>青森県内の高等学校を平成30年3月に卒業見込みの者、若しくは青森県外の高等学校を平成30年3月に卒業見込みの者で、本人又はその配偶者若しくは一親等の親族が出願期間の最終日の1年前（平成28年11月7日）から引き続き青森県内に住所を有する者（以下、「県内者」という。）の中から上記の人数を募集する。</p> <p>ただし、看護学科は5名、理学療法学科は2名、社会福祉学科は3名、栄養学科は2名を青森県外の高等学校を平成30年3月に卒業見込みで県内者を除いた者（以下において「県外者」という。）から募集する。</p>			
出願資格	<p>次の各号のいずれにも該当し、高等学校長若しくは中等教育学校長が責任をもって推薦できる者とする。</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成30年3月卒業見込みの者 {学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第104条第3項の規定により、学年の途中において、又は、学期の区分に従い、高等学校の卒業を認められる者を含む}</p> <p>(2) 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者</p> <p>(3) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上である者</p> <p>(4) 志望学科ごとに次の要件に該当する者</p> <p>① 看護学科 看護学に興味を持ち、将来看護の実践、教育の分野で活躍したいという意欲が明らかなる者</p> <p>② 理学療法学科、社会福祉学科 卒業後に、理学療法士、社会福祉士又は精神保健福祉士の資格を有効に活用し、社会に貢献したいという希望がある者</p> <p>③ 栄養学科 栄養学・食品学に興味を持ち、将来、保健医療福祉、教育及び食産業の分野で活躍したいという意欲の強い者</p>			
推薦人数	各学科において、1高等学校について2名			
選抜方法等	小論文、面接及び調査書の内容を総合して行う。			
出願期間	平成29年11月1日（水）～平成29年11月7日（火）			
選抜期日	平成29年11月23日（木・祝日）			
合格発表日	平成29年12月1日（金）			
備 考	<p>1 高等学校は、学校長1名をもって1校とする。 ただし、分校・分校舎等（定時制、通信制は含まない）を有する高等学校は、本校とは別にそれらを1校として数える。定時制だけの高等学校はそれだけで1校と数える。</p> <p>2 高等学校は学科ごとにそれぞれ2名推薦できるので、1高等学校からは4学科合わせて8名まで推薦できる。</p> <p>3 青森県外の高等学校が、県内者と県外者を同時に推薦する場合でも、1高等学校からの推薦人数は上記による。</p>			

IV - 2

平成30年度特別選抜方法（帰国子女等）

青森県立保健大学

実施学部・学科名	健康科学部 看護学科
募集人員	1名
出願資格	<p>次の各号のいずれかに該当する者とする。ただし、(1)～(4)に該当する者にあつては、日本国籍を有し、保護者の海外勤務等により外国の教育を受けた者に限る。</p> <p>(1) 外国において、学校教育における12年の課程を平成28年4月1日から平成30年3月31日までに修了した者又は修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者 上記の12年の課程には、日本における通常の課程による学校教育の期間も含まれるが、外国において最終学年を含めて2年以上継続して教育を受けていることを必要とする。また、外国に設置されたものであつても日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を、外国において学校教育を受けたものとはみなさない。</p> <p>(2) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を平成28年以降に授与された者で、平成30年3月31日までに18歳に達する者</p> <p>(3) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成28年以降に取得した者で、平成30年3月31日までに18歳に達する者</p> <p>(4) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成28年以降に取得した者で、平成30年3月31日までに18歳に達する者</p> <p>(5) 日本国へ引揚後9年以下の中国引揚者等子女であつて、かつ日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者その他これに準ずる者であり、大学入学資格を有する者</p> <p>※ 中国引揚者等子女とは、保護者（父と母、又は父母のいずれか）が引揚者である者をいう。この引揚者とは、終戦前（昭和20年9月2日以前をいう。）から引き続き中国等に居住していた者（当該者を親として終戦後中国において出生した者を含む。）で、終戦後初めて永住の目的をもって帰国した者をいう。</p>
選抜方法等	総合問題（高等学校で得た基礎学力に基づき、英文読解力、論理的思考能力、表現力、自然科学の知識等を総合的に評価する出題を行う）及び面接の結果を総合的に判定して行う。
出願期間	平成29年11月1日（水）～平成29年11月7日（火）
選抜期日	平成29年11月23日（木・祝日）
合格発表日	平成29年12月1日（金）
備考	

IV - 3

平成30年度特別選抜方法（社会人・学士）

青森県立保健大学

実施学部・学科名	健 康 科 学 部		
	看 護 学 科	理 学 療 法 学 科	社 会 福 祉 学 科
募 集 人 員	2 名	1 名	1 名
出 願 資 格	<p>次の各号のいずれかに該当する者。</p> <p>(1) 平成30年3月31日までに満21歳に達し、社会人経験を3年以上有する者で、次のいずれかに該当する者。</p> <p>なお、社会人経験には家事従事期間を含むが、夜間、定時制、通信制以外の学校（大学、短期大学、専門学校等昼間課程）に在籍していた期間は含めない。</p> <p>① 高等学校を卒業した者</p> <p>② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者</p> <p>③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者</p> <p>(2) 大学を卒業した者及び平成30年3月までに卒業見込みの者</p> <p>(3) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び平成30年3月までに学士の学位を授与される見込みの者</p>		
選 抜 方 法 等	<p>総合問題（高等学校で得た基礎学力に基づき、英文読解力、論理的思考能力、表現力、自然科学の知識等を総合的に評価する出題を行う）及び面接の結果を総合的に判定して行う。</p>		
出 願 期 間	平成29年7月10日（月）～平成29年7月13日（木）		
選 抜 期 日	平成29年8月26日（土）		
合 格 発 表 日	平成29年9月1日（金）		
備 考			

IV - 4

平成30年度特別選抜方法（私費外国人留学生）

青森県立保健大学

実施学部・学科名	健康科学部 看護学科
募集人員	1名
出願資格	<p>次の各号のいずれにも該当し、かつ日本学生支援機構が実施する平成29年度日本留学試験の日本語、数学（コース1）、理科（化学・生物）（いずれも出題言語は日本語に限る。）を受験した者とする。</p> <p>(1) 日本国籍を有しない者</p> <p>(2) 次のいずれかに該当する者</p> <p>① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者</p> <p>② スイス民法典に基づく財団法人国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を授与された者で、平成30年3月31日までに18歳に達する者</p> <p>③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で、平成30年3月31日までに18歳に達する者</p> <p>④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、平成30年3月31日までに18歳に達する者</p> <p>(3) 出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）において、大学入学に支障のない在留資格を有する者、又は本学入学により有することとなる者</p>
選抜方法等	小論文、面接、日本留学試験の内容を総合して行う。
出願期間	平成30年1月22日（月）～平成30年1月31日（水）
選抜期日	平成30年2月25日（日）
合格発表日	平成30年3月5日（月）
備考	<p>平成29年度日本留学試験</p> <p>次のいずれかの試験を受験すること。</p> <p>第1回目 試験日：平成29年6月18日（日） （出願期間：平成29年2月13日（月）～3月10日（金））</p> <p>第2回目 試験日：平成29年11月12日（日） （出願期間：平成29年7月3日（月）～7月28日（金））</p>

V 編入学

○編入年次及び在学すべき年数

編入時期は平成30年4月とし、各学科の編入年次及び在学すべき年数は次のとおりです。

学 科	編 入 年 次	在学すべき年数
看 護 学 科	3年次	2年
理学療法学科	3年次	2年
社会福祉学科	2年次	3年
栄 養 学 科	2年次	3年

○出願資格

編入学に出願できる者は保健医療福祉に関わる現職者及び短期大学卒業者、専修学校卒業者等です。（詳細はP16参照）

○出願上の注意

編入学が許可された後に、出願書類等が事実と異なる場合及び出願資格の要件を満たさないことが判明した場合は、本学の編入学許可を取り消すことがあります。

○入学者選抜方法

本学が実施する個別学力検査（看護学科・理学療法学科は小論文（*1）、社会福祉学科・栄養学科は総合問題（*2）、面接）等の成績、志望理由書、成績証明書等の内容を総合して行います。

なお、判定の結果、基準に満たないと認められる場合には、合格者を募集人員よりも減ずることがあります。

（*1）小論文：英文読解を含む。

（*2）総合問題：高等学校で得た基礎学力に基づき、論理的思考能力、表現力、英文読解力、自然科学の知識等を総合的に評価する出題を行う。

○試験会場

編入学試験は、青森県立保健大学（青森市浜館字間瀬58-1）を試験会場として実施します。

平成30年度編入学者選抜方法

青森県立保健大学

実施学部 ・学科名	健 康 科 学 部			
	看 護 学 科	理 学 療 法 学 科	社 会 福 祉 学 科	栄 養 学 科
募 集 人 員	10名 (うち2名は指定校推薦)	2名	4名	3名
	看護学科の募集人員10名のうち2名については、青森県内の看護系短期大学（八戸学院短期大学看護学科）を平成30年3月に卒業見込みの者の中から2名推薦募集する。			
出 願 資 格	<p>【一般】 志望学科ごとに次の要件に該当する者</p> <p>(1) 看護学科 看護師国家試験に合格した者、又はその受験資格を有する者、若しくはその受験資格を有する見込みの者であって、次のいずれかに該当する者 イ 短期大学の看護系学科を卒業した者、又は平成30年3月に卒業見込みの者 ロ 専修学校の看護系専門課程（修業年限が2年以上で、かつ課程の修了に必要な総授業時間数が、1,700時間以上のものに限る。）を修了した者、又は平成30年3月に修了見込みの者</p> <p>(2) 理学療法学科 理学療法士国家試験に合格した者、又はその受験資格を有する者、若しくはその受験資格を有する見込みの者であって、次のいずれかに該当する者 イ 理学療法学の短期大学を卒業した者、又は平成30年3月に卒業見込みの者 ロ 専修学校の理学療法学専門課程（修業年限が2年以上で、かつ課程の修了に必要な総授業時間数が、1,700時間以上のものに限る。）を修了した者、又は平成30年3月に修了見込みの者</p> <p>(3) 社会福祉学科 ① 短期大学又は高等専門学校を卒業した者、又は平成30年3月に卒業見込みの者 ② 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上で、かつ課程の修了に必要な総授業時間数が、1,700時間以上のものに限る。）を修了した者、又は平成30年3月に修了見込みの者 ③ 大学に2年以上在学し、62単位以上修得した者、又は平成30年3月にこれに該当する見込みのある者 注) 社会福祉学科の出願資格については、在学していた学部・学科・専攻は問わない。</p> <p>(4) 栄養学科 ① 学士の学位を有する者、又は平成30年3月までに学士の学位を授与される見込みの者 ② 短期大学・高等専門学校を卒業した者、又は平成30年3月に卒業見込みの者 注) 栄養学科の出願資格については、在学していた学部・学科・専攻は問わない。</p> <p>【指定校推薦（看護学科）】 次の各号のいずれにも該当し、当該短期大学長が責任をもって推薦できる者 (1) 本学が指定した看護系短期大学を平成30年3月に卒業見込みの者 (2) 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者 (3) 応募時点において、学内成績がおおむね上位20%以内で、人物ともに優れている者</p>			
選 抜 方 法 等	個別学力検査（看護学科・理学療法学科は小論文、社会福祉学科・栄養学科は総合問題、面接）等の成績、成績証明書、編入学志望理由書の内容を総合して行う。 ただし、指定校推薦による個別学力検査は面接のみとする。			
出 願 期 間	平成29年7月10日（月）～平成29年7月13日（木）			
選 抜 期 日	平成29年8月26日（土）			
合 格 発 表 日	平成29年9月1日（金）			
備 考				

VI 大学院入学者選抜について

○大学院の設置

保健・医療・福祉に関する幅広い知識と各専門分野における高い専門的能力を備えた高度専門職業人を育成するために、大学院を設置しています。

- ・ 研究科：健康科学研究科（博士前期課程・博士後期課程）
- ・ 専攻：健康科学専攻

○入学者選抜方法・募集人員及び選抜区分

詳細については、学生募集要項（第1期募集は5月下旬、第2期募集は10月中旬配布予定）でご確認ください。

○選抜日程

区分	第1期募集	第2期募集
出願資格認定 審査申請期間	平成29年8月15日(火)～18日(金)	平成29年12月18日(月)～ 平成29年12月21日(木)
出願期間	平成29年9月11日(月)～14日(木)	平成30年1月15日(月)～18日(木)
選抜期日	平成29年10月14日(土)	平成30年2月10日(土)
合格発表日	平成29年10月20日(金)	平成30年2月16日(金)

○出願資格

学校教育法第83条の大学を卒業した者（又は平成30年3月31日までに卒業見込みの者）等。
出願資格の詳細については、学生募集要項（第1期募集は5月下旬、第2期募集は10月中旬配布予定）でご確認ください。（出願の事前に出願資格認定審査を要する場合があります。）

○試験会場

大学院入学者選抜試験は、青森県立保健大学（青森市浜館字間瀬58-1）を試験会場として実施します。

VII 留意事項等

○ 身体に障害等を有する入学志願者の事前相談について

本学に入学を志願する者で身体に障害等（学校教育法施行令第22条の3に定める程度）を有する者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがあるので、出願の前に青森県立保健大学教務学生課まで連絡し、相談してください。

なお、詳細については後日発表する学生募集要項を参照してください。

○ 学校教育法施行規則第150条第7号の規定に基づく大学入学資格審査について

学校教育法施行規則第150条第7号に基づく大学入学審査申請期間は次のとおりとします。

選抜方法	大学入学資格審査申請期間	審査結果通知時期
A O 入 試 (特別活動選抜)	平成29年6月5日(月)～6月9日(金)	平成29年7月3日(月) 頃
特 別 選 抜 (社会人・学士)	平成29年6月5日(月)～6月9日(金)	平成29年6月26日(月) 頃
特別選抜(社会人・ 学士を除く。)及び 一 般 入 試	平成29年8月28日(月)～9月1日(金)	平成29年9月22日(金) 頃

○ 初年度納付金

- ・入 学 料 県内者225,600円、それ以外の者338,400円（大学院も同額）
- ・授 業 料 年額535,800円（4月末、10月末に半額ずつ納付。大学院も同額）
- ・学外実習負担金

看 護 学 科	14,000円	社会福祉学科	5,000円
理 学 療 法 学 科	15,000円	栄 養 学 科	5,000円

（実習に伴う交通費、ユニフォーム代、宿泊費等の費用は、別途必要です。）

上記は平成30年度の予定額であり、変更する場合があります。

また、年度の途中で授業料等の改訂があった場合は、改訂後の授業料等が適用となります。

このほか、後援会費（4年分50,000円）、同窓会費（終身会費10,000円）、傷害・賠償保険料等を徴収しています。

○ 奨学金・授業料減免制度等

(1) 日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構では、人物・学業ともに優れた学生であって経済的に修学が困難な学生に対して奨学金を貸与しており、概要は下記のとおりとなっています。

① 在学採用

大学入学後に奨学金の貸与を申し込みたい方（在学採用）を対象に毎年4月に説明会を行います。

② 予約採用

入学の前年度に奨学金採用候補者に決定の方（予約採用候補者）は、大学入学後、

「進学届」を提出する必要があります。

③ 緊急採用（第一種）・応急採用（第二種）

主たる家計支持者の失職、破産、事故、病気、死亡等若しくは火災、風水害等の災害等により家計が急変し、緊急に奨学金の必要が生じた場合は、随時申込みを受け付けています。ただし、家計が急変した事由が発生した月から12ヶ月以内である場合に限り申し込み可能です。緊急採用はその年度末まで、応急採用は標準修業年数が終了するまでの期間について奨学金の貸与を受けることができます。

④ 奨学金の種類

奨学金の種類	第一種 奨学金 [在学採用・緊急採用]		第二種 奨学金 [在学採用・応急採用]
	貸与月額	学部	自宅
自宅外			30,000円、51,000円から選択
大学院		博士前期	50,000円、88,000円から選択
		博士後期	80,000円、122,000円から選択
利子	無利子		有利子（年3%以内）
貸与対象者	特に優れた学生で経済的理由により著しく修学困難な者		第一種奨学金よりやや緩やかな基準となっており、一定の成績及び所得条件を満たす者

(2) その他の奨学金

日本学生支援機構以外の奨学金で本学に募集があったものについては学内掲示で周知しますが、地方公共団体や民間団体などが独自に募集するものについては、各団体へ直接お問い合わせください。

(3) 授業料の減免等

経済的理由によって授業料の納入が困難であり、かつ、学業が優秀であると認められる者、その他に特に必要があると認められる者については、授業料の全部若しくは一部を免除し、又は徴収を猶予する制度があります。

(4) 学生寮について

学生寮は、本学の教育施設の一つとして、本学の理念や使命にかなう人材を育成する上で必要とされる教育（コミュニケーション、実習、演習等）の基礎を作るとともに、社会人基礎力を育成することを目的としています。詳細は本学ホームページをご覧ください。

○ 個人情報の取り扱い

(1) 利用目的

志願者から提出いただいた個人情報は、入学者選抜のほか、次の範囲で利用させていただきます。

- ① 入学者の学籍管理及び学生生活支援に関すること。
- ② 入学者選抜の改善のための調査・研究に関すること。

③ その他、教育・研究に関すること。

(2) 第三者への提供

上記(1)の各業務での利用にあたっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者において行うことがあり、その場合、当該業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。

(3) 国公立大学間の情報提供

国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センターの受験番号に限って、合否及び入学手続き等に関する個人情報を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に提供します。


○ 募集要項の請求時期及び方法

入学者選抜に関する細目を記載した募集要項及び出願に必要な書類等は、下記に示した時期に発表・交付する予定です。

なお、大学院の学生募集要項については、次ページ(3)により本学へ直接請求してください。

種 別	交 付 時 期	種 別	交 付 時 期
A O 入 試	平成29年6月中旬	編入学・特別選抜	平成29年6月中旬
推 薦 入 試	平成29年9月下旬	大 学 院	平成29年5月下旬
一 般 入 試	平成29年10月下旬		

(1) 大学のホームページから請求する場合

大学のホームページから  テレメールを利用して大学案内及び募集要項等の資料が請求できます。

詳しくは、青森県立保健大学ホームページ（<http://www.auhw.ac.jp/>）をご覧ください。

(2) インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）または自動音声応答電話で請求する場合

① 下記のいずれかの方法で  テレメールにアクセスしてください。

インターネットの場合 (パソコン・スマートフォン・携帯電話)	http://telemail.jp/ パソコン、スマートフォン、携帯電話 各社共通アドレス	スマートフォン・携帯電話 でバーコードを読み取り、 アクセスした場合は資料請 求番号の入力は不要です。	
自動音声応答電話 の場合	IP電話 050-8601-0101 (24時間受付) ※IP電話への通話料金は、一般電話回線からは日本全国どこからでも 3分毎に約12円です。		

② 請求を希望する資料請求番号（6桁）をプッシュまたは入力してください。

資 料 名	資料請求番号	料金(送料含)	資 料 名	資料請求番号	料金(送料含)
大学案内	560522	2 1 5 円	一般入試学生募集要項	580502	2 1 5 円
入学者選抜要項+大学案内	560502	2 1 5 円	一般入試学生募集要項 + 大学案内	540502	3 0 0 円
A O 入試学生募集要項	540512	1 8 0 円			
推薦入試学生募集要項	580512	1 8 0 円	編入学生募集要項	580532	1 4 0 円
特別選抜学生募集要項	580542	2 1 5 円			

③ あとはガイダンスに従って登録してください。

(1)(2)に関する注意事項

- ・ 発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に発送されます。
 - ・ 資料は発送日の翌日・翌々日に届きます。夕方までの受付は当日発送となりますが、夕方以降は翌日発送となります。なお、お届け先が北海道の一部・沖縄・離島などの場合は3日以上かかります。
 - ・ 随時発送の資料が1週間以上（予約受付の資料は発送開始日から2週間以上）経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。
 - ・ 料金はお届けする資料に同封されている料金支払い用紙の支払方法に従い、表示料金をお支払いください。支払い方法は「郵便局・ゆうちょ銀行での払込み」「コンビニ支払い」「ケータイ払い（携帯電話通話料金と一緒のお支払い）」「クレジットカード払い」がご利用になれます。なお、支払いに際して手数料が別途必要になります（手数料は支払い方法によって異なります）。料金は資料の重量変更により変更になる場合がありますので、予めご了承ください。
 - ・ 自動音声応答電話によるご請求の場合、住所・名前の録音時は、ゆっくりはっきりとお話してください。録音された音声不鮮明な場合は、資料をお届けできないことがあります。
 - ・ 請求時期によっては資料がなくなり、早期終了する場合がありますので予めご了承ください。
 - ・ 一般入試学生募集要項は、大学のホームページからの請求に限り、通常受付終了後でも引き続きテレメール速達対応（レターパック）にて請求受付を行います。詳細は、ホームページを参照してください。
- 速達対応の料金は、上記(2)②に記載の通常受付の料金とは金額が異なります。料金は「一般入試学生募集要項：600円」「一般入試学生募集要項・大学案内：650円」となります。

(1)(2)の請求方法についてのお問い合わせは
テレメールカスタマーセンター
IP電話050-8601-0102（9：30～18：00）まで

(3) 本学へ直接請求する場合

<請求方法>

- ① 郵送による送付を希望する場合は、郵便番号・住所・氏名を明記し、250円分（一般入試学生募集要項を1部請求の場合）の切手を貼付した返信用封筒（角形2号）を同封のうえ、下記請求先へ請求してください。

なお、封筒の表には、「〇〇入試学生募集要項請求」と朱書きするとともに、裏面には住所・氏名・電話番号を記載してください（複数の要項を請求する場合には返信用の切手の額が変わりますので、先に電話でご確認ください）。

- ② 宅急便による送付を希望する場合（複数請求される場合など）は、はがき又はFAXにより郵便番号・住所・氏名・電話番号・必要な要項の種類・請求部数・宅急便による着払いを希望する旨を記載のうえ請求してください。着払いにて送付いたします。

<募集要項請求先>

青森県立保健大学 教務学生課 入試担当

〒030-8505 青森市浜館字間瀬58-1

電 話 017-765-2144（直通）

F A X 017-765-2188

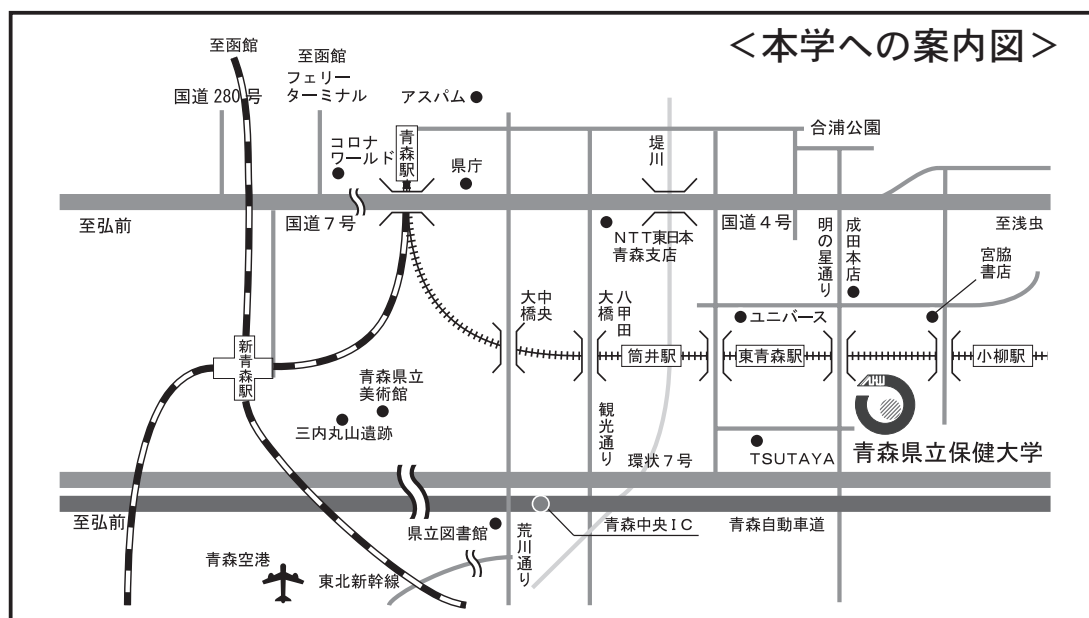
VIII 大学までの交通案内

青森市まで

- J R / 東京駅～新青森駅まで約3時間（東北新幹線「はやぶさ」「はやて」）
函館駅～新青森駅まで約1時間半（北海道新幹線「はやぶさ」「はやて」）
- 飛行機 / 札幌便（約45分）、東京便（約75分）、名古屋便（約80分）、大阪便（約90分）

大学まで

- 青森駅から約7km、新青森駅から約11km
- 鉄道
新青森駅から青森駅を経由し（奥羽本線）、青い森鉄道八戸方面行きで東青森駅または小柳駅で下車。
いずれも大学まで徒歩約10分（約1km）。
- バス（青森市営バス）
新青森駅南口から東部営業所方面行きで青森駅前バス停で下車（約15分）。
青森駅前バス停から戸山団地・沢山線（明の星高校経由に限る）で県立保健大学前バス停まで（約20分）。
- 車 / タクシー
青森駅から約20分、新青森駅から約25分
青森自動車道（青森中央 I C）から約15分
青森空港から約30分



○ 問い合わせ先

青森県立保健大学 教務学生課 入試担当
〒030-8505 青森市浜館字間瀬58-1
電話 017-765-2144（直通）
FAX 017-765-2188

〈参考〉平成29年度入学者選抜結果

◆ 選抜状況

【看護学科】

健康科学部 単位：名

選 抜 区 分		募集人員	志 願 者 数	受 験 者 数	合 格 者 数			入 学 者 数	
					一 次 合 格 者	追 加 合 格 者	計		
A O 入 試	一 般	5	45	45	5	0	5	5	
	特 別 活 動	1	3	3	1	0	1	1	
特別選抜	一 般 推 薦	県 内 者	30	51	51	30	0	30	30
		県 外 者	5	21	21	6	0	6	6
	社 会 人 ・ 学 士	2	4	3	2	0	2	2	
	帰 国 子 女 等	1	0	0	0	0	0	0	
	私 費 外 国 人 留 学 生	1	0	0	0	0	0	0	
一般入試	前 期 日 程	47	137	125	57	0	57	51	
	後 期 日 程	8	133	45	14	0	14	13	
計		100	394	293	115	0	115	108	

【理学療法学科】

選 抜 区 分		募集人員	志 願 者 数	受 験 者 数	合 格 者 数			入 学 者 数	
					一 次 合 格 者	追 加 合 格 者	計		
A O 入 試		2	14	14	1	0	1	1	
特別選抜	一 般 推 薦	県 内 者	8	19	19	9	0	9	9
		県 外 者	2	11	11	2	0	2	2
	社 会 人 ・ 学 士	1	3	3	1	0	1	1	
一般入試	前 期 日 程	14	38	37	17	0	17	16	
	後 期 日 程	3	43	12	3	0	3	3	
計		30	128	96	33	0	33	32	

【社会福祉学科】

選 抜 区 分		募集人員	志 願 者 数	受 験 者 数	合 格 者 数			入 学 者 数	
					一 次 合 格 者	追 加 合 格 者	計		
A O 入 試		4	17	17	5	0	5	5	
特別選抜	一 般 推 薦	県 内 者	11	21	21	12	0	12	12
		県 外 者	3	11	11	3	0	3	3
	社 会 人 ・ 学 士	1	1	1	0	0	0	0	
一般入試	前 期 日 程	25	43	39	29	0	29	25	
	後 期 日 程	6	56	17	10	0	10	9	
計		50	149	106	59	0	59	54	

【栄養学科】

選 抜 区 分		募集人員	志 願 者 数	受 験 者 数	合 格 者 数			入 学 者 数	
					一 次 合 格 者	追 加 合 格 者	計		
特別選抜	一 般 推 薦	県 内 者	6	16	16	6	0	6	6
		県 外 者	2	20	20	2	0	2	2
一般入試	前 期 日 程	19	55	54	22	0	22	22	
	後 期 日 程	3	44	16	3	0	3	3	
計		30	135	106	33	0	33	33	

◆ 入学者の内訳

単位：名

区 分	入学者数	県内外者の内訳		男女の内訳		現役・浪人・社会人の内訳	
		県内者	県外者	男 性	女 性	現 役	浪人・社会人
看護学科	108	58	50	10	98	105	3
理学療法学科	32	15	17	18	14	28	4
社会福祉学科	54	32	22	12	42	52	2
栄養学科	33	10	23	3	30	30	3
計	227	115	112	43	184	215	12

◆ 都道府県別志願・合格状況等

単位：名

都道府県等	志願者数	合格者数	入学者数
北海道	112	35	31
東北地方	青森県	361	118
	岩手県	100	24
	宮城県	24	7
	秋田県	91	21
	山形県	22	6
	福島県	15	3
	関東地方	東京都	3
神奈川県		3	2
茨城県		8	3
栃木県		8	2
群馬県		2	1
埼玉県		4	3
千葉県		4	2
中部地方		新潟県	7
	富山県	2	1
	石川県	1	1
	福井県	2	1
	長野県	4	2
	静岡県	11	1
	愛知県	3	0
	岐阜県	1	0

都道府県等	志願者数	合格者数	入学者数
近畿地方	三重県	2	1
	大阪府	3	2
	兵庫県	3	0
中国地方	鳥取県	1	0
	岡山県	1	0
四国地方	愛媛県	3	1
	高知県	1	0
九州地方	佐賀県	1	0
	鹿児島県	1	0
	沖縄県	2	1
合 計	806	240	227

※1 高校等所在地別による。(私費外国人留学生は除く)

※2 志願者のいない都道府県は除いている。



青森県立保健大学

Aomori University of Health and Welfare

〒030-8505 青森県青森市大字浜館字間瀬58-1

Tel : 017-765-2144 (教務学生課) Fax : 017-765-2188

E-mail:nyushi@auhw.ac.jp

URL:<http://www.auhw.ac.jp/>

再生紙を使用しています